

和歌山だよいい

平成22年
(2010)

3月号



和歌山城 (和歌山市)

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P8
3. お知らせ…………… P9～P10
4. ふるさと歳時記…………… P11



ねこやなぎ

「チャレンジド賞」

先日和歌山市にある県立ろう学校へ参観と生徒さんらにお話をしに行きました。知事が訪ねて行ったのは初めてだそうです。最近各地で県の行政全般に関する住民の皆さんへの報告会をしています。その際聞きに来られた同校の同窓会長さんのお誘いがあり、即決したものです。

幼児から高校生、さらには専門課程までの耳の不自由なお子さんたちが、本当に熱心に勉強をしており、また、先生方の心のこもった授業ぶりにも感動を覚えました。あわせて皆さんにお話をしましたが、県政につき説明した後、県が障害がありながらがんばっている人にさし上げているチャレンジド賞について触れました。「チャレンジド」は直訳すると「挑戦を受けている」という意味で、西洋で始まった考えですが、障害のある人は、神から挑戦すべき課題、チャンスを与えられている人だということです。そして世の中には、その課題やチャンスに挑戦しているすばらしい人々がたくさんいます。しかし、私としては、自分のような障害のない者が、障害のある人に対し、あなたはチャレンジを受けているとはとても言う気にはなりません。むしろ、行政の責任者として、お前は障害のある子どもを立派に世に送り出せるのかという挑戦を神様は自分に与えておられるのではないかと思えます。私たちこそ神に挑まれているのではないのでしょうか。

ろう学校の生徒さんが、がんばっておみやげに作ってくださった木工のカレンダーが今知事室を飾っています。



自然に囲まれた紀美野町真国地区にある「りら創造芸術高等専修学校」の皆さんと懇談する仁坂知事。

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●平成22年度当初予算・新政策を発表～県民の皆さんに希望と安心を～

・世界的な金融危機から1年有余が経過しましたが、社会経済情勢は未だ予断を許さない厳しい状況が続いています。平成22年度は、この直面している状況に雇用対策も含めて的確に対応しながら、「元気な和歌山」の創造に向け、県民の皆さんに『希望』と『安心』をもたらす政策を積極的に推進していきます。

基本方針

厳しい社会経済情勢への的確な対応や持続可能な財政構造の確立にも配慮しつつ、長期総合計画がめざす将来像「元気な和歌山」の創造に向け、県民の生活に『希望』と『安心』をもたらす政策を重点的に推進します。

明日の和歌山を拓く《『希望』の政策》

県民誰もが豊かな明日を期待できるよう、未来への確かな道筋が実感できる施策を積極的に展開

【注力する主な取組】

- ◎ 先駆的技術の開発と販路拡大による産業活性化
- ◎ 過疎地域に希望の灯をともす県独自の集落再生
- ◎ 補充学習を徹底する和歌山方式の学力向上
- ◎ 新エネルギー導入等の戦略的推進
- ◎ 本県の成長に不可欠な道路ネットワーク整備

今日の暮らしを守る《『安心』の政策》

県民誰もが日々安心して暮らせるよう、身の回りの様々な不安を払拭する施策を着実に推進

【注力する主な取組】

- ◎ 地域の支え合いを活かした子育て環境の充実
- ◎ 医師確保や拠点病院整備による安心の医療体制構築
- ◎ 困難を抱えた青少年への支援の強化
- ◎ 災害時における要援護者施設への情報伝達手段の確保
- ◎ 文化財や自然など後世に残すべき本県の“宝”の保全

平成22年度当初予算 5,345億円

〔対前年度比 2.2%増〕

※ 公共投資予算(補正含み) 1,193億円

〔対前年度(補正含み)比 40億円(3.5%)増〕

【明日の和歌山を拓く「希望」の政策】

* 主なものを紹介します

<活力ある産業を創る>

- ・先駆的産業技術研究開発支援 (100,000 千円)
- ・わかやま産業交流サロン (1,893 千円)
- ・わかやま産品販促支援 (47,111 千円)
- ・急傾斜園地再生整備推進 (120,325 千円)

<地域の活力を創る>

- ・わかやま版「過疎集落支援総合対策」(6年間で5億円程度)
- ・商店街のコミュニティ機能強化支援 (15,000 千円)

<郷土を支える人を育てる>

- ・学習につまずきが見られる生徒へのきめ細かな「補充学習」実施
- ・わかやま版「地域産業の担い手育成プロジェクト」(8,063 千円)
- ・新規高等学校卒業予定者への就職支援 (10,623 千円)
- ・『きのくにスポーツフェスティバル(仮称)』の開催 (12,566 千円)

<和歌山の強みを最大限活用する>

- ・学校グリーン電力 (7,819 千円)
- ・地域グリーンニューディールの推進 (578,760 千円)
- ・わかやま〇(まる)旅プロジェクト
- ・インバウンド拡大アクション2010

＜和歌山の成長を支える道路網を整備する＞

- ・高速道路ネットワーク整備（近畿自動車道紀勢線、京奈和自動車道、直轄事業の促進）
- ・府県間道路を平成25年度の概成を目標に優先整備
- ・内陸部骨格道路（X軸ネットワーク）を平成23年度の概成を目標に優先整備

【今日の暮らしを守る「安心」の政策】

＜福祉を充実する＞

- ・地域子育て支えあい（504,479千円）
- ・特別支援学校における職業教育推進プロジェクト（2,183千円）
- ・介護職員の賃金等処遇改善に取り組む事業者を支援（1,769,010千円）

＜県民の健康を守る＞

- ・地域の拠点となる串本町立病院（仮称）や県立医大付属病院紀北分院の整備
- ・救急医療体制の充実（1,692,200千円）
- ・周産期医療体制の充実（228,350千円）

＜日々の暮らしを守る＞

- ・若者自立支援（56,662千円）
- ・非行少年等の立ち直り支援（2,728千円）
- ・私立高等学校へ就学中の家計急変世帯等への支援（24,120千円）

＜災害から県民の命を守る＞

- ・県民減災運動推進（木造住宅耐震化・家具の固定・ブロック塀安全対策）（3,546千円）
- ・要援護者施設通信手段整備（8,952千円）
- ・社会福祉施設・医療施設や防災拠点となる県有施設の耐震化（854,153千円）

＜和歌山の魅力を守る＞

- ・「紀伊山地の霊場と参詣道」関連文化財史跡指定促進調査（2,353千円）
- ・わかやま 景観保全と形成（10,322千円）

●関西国際空港と中国山東省 済南国際空港との定期便就航を祝い、訪問団を派遣

・3月2日、関西国際空港と中国山東省 済南国際空港とを結ぶ定期便が就航しました。和歌山県からは、下副知事を団長とし、富安議長をはじめとする県議会議員が、関西経済連合会、関西国際空港株式会社などとともに済南市への初便で山東省を訪問し、山東省政府と山東航空に路線開設のお礼とともに、山東航空に今後の増便を要望しました。

・また、県内の経済団体、観光業界、食品関係者など民間企業の方々も多数山東省を訪れ、現地で観光エージェントや食品小売業者を訪問するなど、今回の路線開設を活かした交流について話し合いました。

・和歌山県と山東省は昭和59年に友好提携を締結して以来、文化、経済、環境、観光など様々な分野で交流を行ってきました。今回の定期便就航で、泰山や孔子の故郷である曲阜などの世界遺産を有する山東省と、同じく世界遺産である「紀伊山地の霊場と参詣道」という貴重な文化・自然資源を有する和歌山県との間で、観光面での交流促進などが期待されます。



●「FOODEX JAPAN2010（第35回国際食品・飲料展）に和歌山県ブースが出展

・3月2日～5日、アジア・環太平洋地域最大の食品・飲料の国際展示商談会“FOODEX JAPAN 2010（第35回国際食品・飲料展）”が千葉県幕張メッセで開催されました。（国内外から約2500社が出展、4日間で約73,500人の来場者）

・和歌山県からは梅干、梅加工品、お酒、果実加工品などを取り扱う23事業者が30小間の広さ（約220㎡）に共同出展しました。（和歌山県は自治体で3年連続最大規模での出展となりました。）

・オープニングセレモニーには、仁坂知事が出展者代表として出席し、テープカットを行いました（右写真）。今回は、ブース内ステージを使った事業者による実演やカクテル作りのパフォーマンスなどの“プレゼン”や“プレミアム商品を組み合わせた食事提案”を行い、和歌山県産を大いに売り込みました。



和歌山県ブース

●「堂島ロール」と県産オリジナルいちご「まりひめ」がドッキング

・人気スイーツ「堂島ロール」を製造する（株）モン シュシュと「まりひめ」の栽培が盛んなJA紀の里、そして「まりひめ」を育てた和歌山県の3者の連携により、3月限定商品“プリンセスロール～まりひめ～”が大阪、名古屋、広島地区の（株）モン シュシュ7店舗で販売されています。



・「まりひめ」は、県農業試験場で平成20年に誕生した和歌山県オリジナルのいちごで、県の伝統工芸品「紀州てまり」にちなみ、皆様に愛されるようにとの思いを込め名付けられました。大粒で鮮やかな紅色と豊かな香り、さわやかな酸味とジューシーな甘さが特徴です。

・現在、「まりひめ」の生産拡大に取り組んでいますので、お店で見かけたらぜひご賞味下さい。

●第4 1回全国高校バレーボール選抜優勝大会出場校壮行式開催！

・3月4日、全国高校バレーボール選抜優勝大会に出場する、開智高校（男子代表 16年連続16回目）と和歌山信愛女子短期大学附属高校（女子代表 5年連続25回目）の健闘を祈念するために、アバローム紀の国において壮行式を開催しました。

・仁坂知事は、「5年連続の顔ぶれとなった。初戦突破で波に乗って頑張ってもらいたい」と両校を激励。

・開智高校の和中主将は、「全国制覇を目指しがんばります」と力を込め、和歌山信愛高校の荒堀主将は「県内の後進に夢を与えられるような試合をしたい」と大会に向けての意気込みを語りました。

・大会は3月20日から26日までの7日間、東京・国立代々木第1競技場において開催されます。初戦は、開智高校が、東京学館新潟と東亜学園の勝者、和歌山信愛高校は秋田県の由利高校との対戦となります。応援をお願いします。



●第8 2回選抜高校野球大会出場校壮行式開催！

・3月11日、第8 2回選抜高校野球大会に出場する、智辯学園和歌山高等学校（2年ぶり9回目）と県立向陽高等学校（36年ぶり15回目）の健闘を祈念するため、県庁正面広場で壮行式を開催しました。和歌山県から、2校が代表として出場するのは、平成8年以来14年ぶりのことです。



・仁坂知事は、選手の皆さんを

「全国でも、2校出場の壮行式を開催できる知事は多くない。決勝戦で県勢同士の戦いを見るのが夢。両校の健闘を期待します。」と激励。

・智辯和歌山の城山主将は「長打を狙える打撃のチーム。智辯らしい試合をしてきます」、一方、向陽の西岡主将は「地域の皆さんの支えがあってこそこの出場。21世紀枠の出場として、真摯にがんばります」と大会に向けての意気込みを語りました。

・大会は3月21日から12日間開催され、智辯学園和歌山高等学校が高岡商(富山県)、向陽高等学校は開星(島根県)と初戦で対戦することとなりました。応援をお願いします。

●第9回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会開催

・2月21日、小春日和の下、第9回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会が開催されました。本大会は、平成13年度から、スポーツの振興と青少年の健全育成を図るとともに、県及び各市町村の活性化に資することを目的に開催し、「ジュニア駅伝」の愛称で親しまれています。9回目となる今年



年はコースを変更し、紀三井寺陸上競技場をスタートし、和歌山マリーナシティや片男波公園健康館前、雑賀崎を走り県庁前をフィニッシュとする10区間21.1kmとなりました。当日は、29市町の代表チームとオープン参加10チームの計39チーム、計390名の郷土を代表する小・中学生が参加し、2,300名のボランティアと沿道の皆さんの応援の中、盛大に開催されました。開始式で仁坂知事は、「皆さん、郷土の誇りをタスキに繋ぎ、ゴールに向かって頑張ってください。」と激励し、スターターをつとめました。

(結果) 1位 御坊市(7年ぶり2回目) 2位 田辺市 3位 和歌山市

●府県間道路 泉佐野岩出線の供用(4車線化)

・3月3日、新風吹トンネル(下り)が完成し、府県界から新風吹トンネル(上り)を含む暫定2車線供用中の約1.7km間を4車線として供用を開始しました。



泉佐野岩出線は、大阪府泉佐野市を起点とし和歌山県岩出市に至る道路であり、京奈和自動車道と合わせて近畿の一体的発展に寄与する重要な路線です。

・この区間の完成により、国道24号から府県界の約6.7km間が全線供用となります。大阪府と和歌山県を結ぶ府県間道路のうち、和歌山県側で4車線が完成するのは、今回が初めてです。

●ドイツ・ハンブルク在住の新宮藩水野家子孫 ベロイターさん母子が県庁を訪問

- ・3月9日、元新宮藩主、水野家の子孫でドイツ在住のモニカ・ベロイターさんと息子の健さんが、小田和歌山日独協会長とともに仁坂知事を訪問されました。
- ・モニカさんは水野家第14代当主水野誠さんの娘、慈子(やすこ)さんとドイツ人の父との間に生まれ、12歳まで日本で育ちました。その後ドイツへ渡り、画家のヨアヒムさんと結婚、現在は家族4人でハンブルクに住み、日独語通訳として活躍されています。
- ・懇談の中で知事は、水野家が治めた新宮は文化の薫り高い美しい町、と紹介しました。
- ・2人は3月9日から一週間、水野家代々の墓所を守る元新宮領主水野家顕彰会や市の関係者に迎えられ、水野家縁の地である新宮市で滞在。「和歌山県を訪れるのは初めて」という健さんは、同市で予定しているホームステイや小学校体験入学など、日本の生活体験を楽しみにしていると語ってくれました。



モニカさん（左から2番目）と健さん（中央）

●南加和歌山県人会 岡本啓三郎会長ら、県庁を訪問

- ・3月8日、南加（米・カリフォルニア）和歌山県人会 岡本啓三郎会長と坂地ジャック幹事が来県し、仁坂知事を訪問されました。
- ・南加和歌山県人会は、カリフォルニア州南部地域に移住した本県出身の方々が、故郷・和歌山との連絡を密にし、お互い助け合い親睦を図るために1911年（明治44年）に設立されました。会では、「レタス王」と呼ばれた南弥右衛門氏や1964年の東京オリンピックの誘致に尽力された和田勇氏など、日米両国において著名な方も会員として活躍されていました。
- ・訪問には、昨年設立された和歌山県議会日米友好議員連盟会長の谷議員らも同席され、



岡本会長（中央右）と坂地幹事（中央左）

会長らは、県人会創立100周年式典を2011年11月13日にロサンゼルスで開催することを知事に報告するとともに、出席の要請を行いました。

・また、翌日には、テレビ番組に生出演し、県人会の説明や100周年式典の紹介を行うなど、県民に向けて県人会から熱のこもったメッセージを送りました。

●チリ地震による津波到来

・2月27日、南米チリ中部沿岸において発生した大地震により、28日午後に津波が日本の太平洋側に到来しました。和歌山県では、気象庁が和歌山県沿岸に津波警報を発表したことを受け、職員の配備体制の発令、災害対策本部を立ち上げ、対応にあたりました。仁坂知事の指揮のもと、沿岸市町に対し、避難勧告等の適切な対応を要請するとともに、県防災ヘリや県警ヘリによる上空からの警戒広報や、海上保安庁などと連携した広報を実施するなど、県民の安全確保に努めました。

・住民への避難指示や避難勧告が発令され警戒する中、串本町で90cmの津波が確認されるなど、県内各地で津波の到達が観測されました。

・幸いにも、県民の方や住家などに被害はありませんでしたが、避難勧告等が発令したにも関わらず、実際に避難された方が非常に少なかったのという課題も見えてきました。

・本県は近い将来発生の懸念される東南海・南海地震の津波により大きな被害が予測されています。今回の津波対応についてしっかりと検証を行い、県民の安全・安心を守るための対策に活かしていきます。

●わかやま応援団“山口智世”さんが県庁を訪問

・3月1日、和歌山市出身の演歌歌手で、本県の観光や特産品のPRにご協力をいただいている「わかやま応援団」の山口智世（さとよ）さんが、新曲のPRのため、県庁を訪れました。

・山口さんは、過去に「和歌山県観光キャンペーンガール」として本県の観光PRに当たり、演歌歌手になってからも、「悠久の道～熊野古道～」や「友ヶ島情話」など、本県ゆかりの歌を持ち歌としています。

・当日は、山口さんから仁坂知事に自身のCDをプレゼントし、知事からは、今後の活躍を期待する旨のお礼の言葉が送られました。わかやま応援団は、現在53名。ラジオのパーソナリティーとして有名な浜村淳さんや、元阪神タイガースの藤田平さんをはじめ、多くの皆さんに協力をいただいています。





和歌山の旬のこだわり情報をお届けします

そのまま!

わかやまの春キャベツ!



まるい形と鮮やかなグリーンが特徴の春キャベツ

まるかじり初登場!



春キャベツとホタルイカの Pasta

～和歌山産は、^{なま}生が^{しゅんけい}美味しい春系キャベツ～

和歌山県北部に位置する和歌山市では、**春系キャベツ**の収穫が始まっています。水田裏作の品目として約 180 ヘクタールが栽培され、収穫のピークは5月上旬まで続きます。

キャベツには春を中心に回る春系キャベツ、球がしっかり締まっている^{かんだま}寒玉（冬キャベツ）があり、和歌山市は**春系キャベツ**の大産地です。

春系キャベツは冬キャベツに比べて葉が柔らかくてみずみずしく、巻きが緩いのが特徴で、甘みがあり味は最高です。サラダなど生で食べるのがおすすめ。

外葉からこんもりとした球が見え、押さえると適度の弾力があれば収穫のタイミングで、地際から専用の鎌で一気に切り取ります。出荷先は主に京阪神なのですが、和歌山の**春系キャベツ**を見つけたら、ぜひ春の味覚をお楽しみ下さい。

～収穫に専用の台車が活躍!～

キャベツの収穫に専用の台車が活躍しているのはご存じですか？

この台車は右の写真のように^{うね}畝に沿って移動しながら収穫と運搬をします。また、傷みがないかキャベツ全体をチェックしながら箱に詰めていきます。キャベツやハクサイなど重量野菜を効率的に収穫するためにはなくてはならない農機具です。



畑で箱詰めもします。

～おいしく食べて胃腸も元気！～

とんかつに必ず添えられている千切りキャベツ、栄養面でもベストな食べ方というのをご存じでしょうか。

注目したいのは、キャベツに特有のビタミンUが多く含まれていることで、胃の粘膜を強くし、胃や十二指腸潰瘍を抑える働きがあります。市販されている胃薬にも主成分として使われるほど、胃腸にありがたい野菜なのです。

また春系キャベツは、胃潰瘍の修復にも優れていると言われています。

キャベツはサラダ、煮物、あえものなどいろいろな料理に使うことができる万能野菜。おいしく食べて健康にも配慮したいものです。



芯も柔らか、ぜひ生で

～和歌山食べもの豆知識～

「紀州てまり野菜」とは？

今回紹介しました春系キャベツもそうなのですが、わかやま農業協同組合が取り扱う野菜のブランドです。

和歌山市の生産者が愛情こめて育てた野菜は、紀州徳川藩にまつわる童謡「まりと殿様」のように物語が詰まっています。

他にもだいこん、ハクサイ、新しょうがなどがあり、和歌山の野菜のブランドとして注目されています。



このマークが目印！

～ 和歌山城 加太 友ヶ島 和歌山市 ～

和歌山城 (表紙写真)

・ 「日本の名城100選」に選定された和歌山城。築城のはじまりは、天正13年(1585)。紀州を平定した豊臣秀吉が弟の秀長に命じて、築きました。(当時の規模等についてはよく分かっていません。)完成した城に入ったのは、城代としての桑山重晴。(天正14年)次に、関ヶ原の戦いで功をたてた浅野幸長が入城。その後、徳川家康の第十子頼宣(1619年/55万石)が入城しました。この時、城郭の大修理があり、徳川御三家の居城として250年に渡り歴史を刻んできました。

1846年に落雷し、天守閣などが焼失。当時は幕府の制度で、天守閣の再建は許可されなかったのですが、再建を許され、1850年にもとの姿にもどりました。昭和6年(1931年)文部省より史跡に指定、昭和10年(1935年)には、天守閣等が国宝建造物に指定されたのですが、昭和20年戦災で焼失。10余年後、再建の気運が高まり、昭和33年再建されました。

「西の丸庭園」：江戸時代初期に作られた城郭庭園屈指の名園(徳川頼宣が築造)。昭和45年度から3年かけて復元整備され、昭和60年には国の名勝指定を受けました。名誉市民、故松下幸之助氏より庭園内に茶室(紅松庵)が寄贈(昭和49年)。紅松庵では抹茶を召し上がっていただけます。庭園の入場料は無料です。

加太

・ 春になると海岸で潮干狩りを楽しむ人々で賑わう加太。夏には、海水浴や磯釣り他、マリレジャーが楽しめるリゾート地です。古くからの景勝地で万葉時代には、「形見の浦」と詠まれていました。なぜ「形見」というのか?では、干潟の海「潟海」が、同じ読み「形見」になったという説があります。「あわしまさん」と親しまれる淡嶋神社での3月3日の雛流しの神事は有名。

友が島

・ 加太港から汽船で約20分で到着する友が島。友が島とは1つの島の名ではなく、地ノ島, 沖ノ島, 虎島, 神島の総称です。幕末の異国船来航で大阪湾の防備を考えた時、紀淡海峡にある友が島が注目され、明治政府も「由良要塞」として友が島を整備。第二次世界大戦までの間、一般の人々が近づくことは許されませんでした。その頃を偲ばせるレンガ造りの砲台跡や日本で8番目に出来た洋式灯台(明治5年竣工)もあります。



和歌山市ホームページ <http://www.city.wakayama.wakayama.jp/>

～編集後記～

和歌山は、紀三井寺や根来寺等の桜や那賀地域の桃の花が一斉に開花する春をまもなく迎えようとしています。

県庁では、平成22年度当初予算を審議する2月議会の真最中です。

県政トピックスでご案内しましたが、新年度の当初予算・新政策は「元気な和歌山」の創造に向け、県民の生活に「希望」と「安心」をもたらす政策を重点的に推進することを基本方針として編成されています。議会で議決されれば、基本方針に則りそれぞれの目標に向かって県職員が一丸となって懸命に取り組まなくてはなりません。

3月は県庁も年度末を迎えなにかと慌ただしくなります。月末には人事異動により職場が変わる者もいます。新たな分野の仕事に挑み、そして、よく勉強しなくてはなりません。

知事は、「異動する者は、しっかりと引き継ぎ書を作って、県民の皆さんに再度同じ説明をさせることがないように。」と職員に檄を飛ばしています。

私も秘書課に配属されてから、早一年が過ぎようとしています。一年を振り返ると、一日一日の歩みが本当に大切であると感じた一年でありました。

来年度も「和歌山だより」の充実に一生懸命取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします

知事室秘書課長 藤川 崇

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2010年(平成22年)3月 NO.24

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022